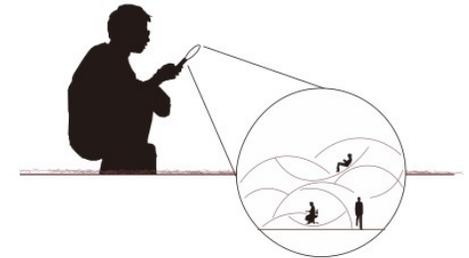
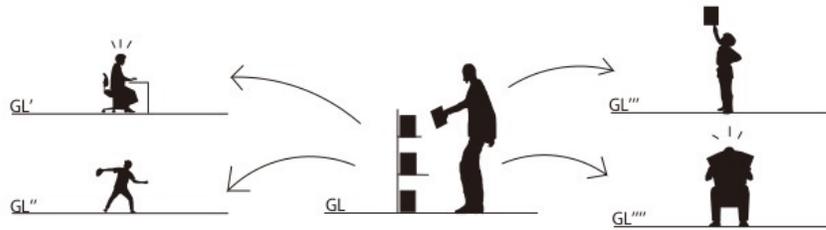


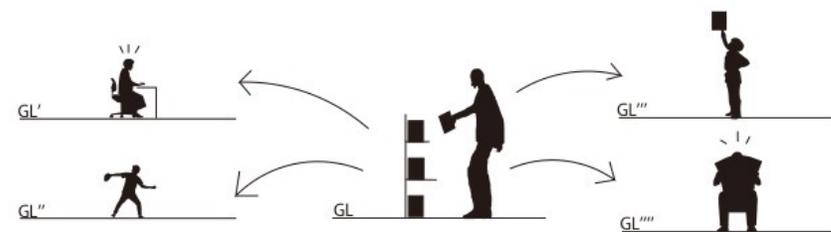
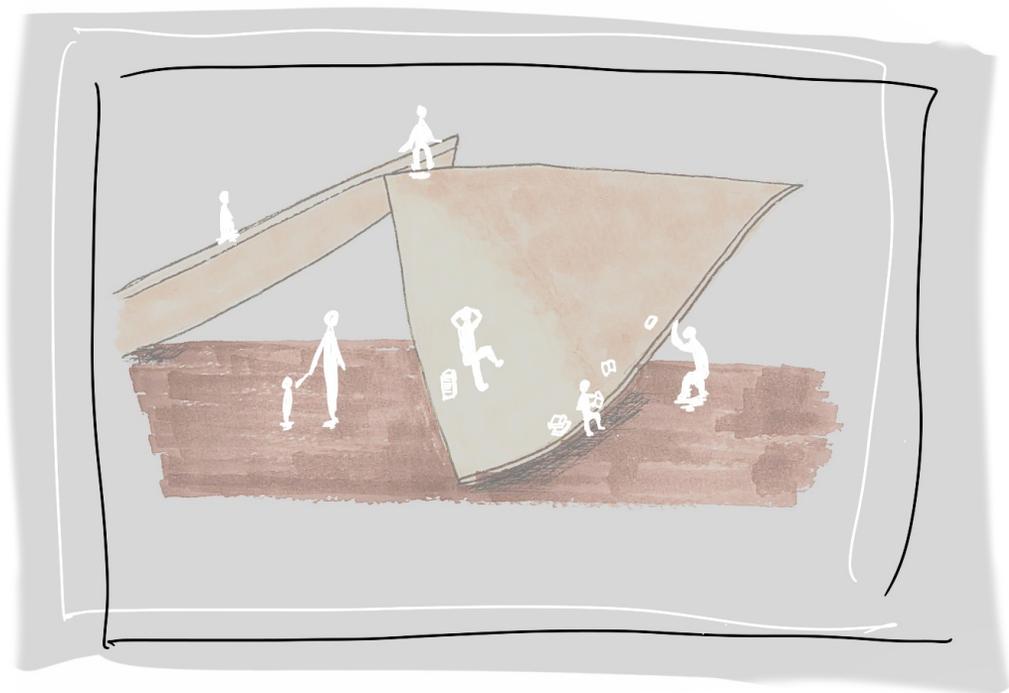
広がり、出会い、始まり

GLに立つ

# グラウンドレベル：広がるGL

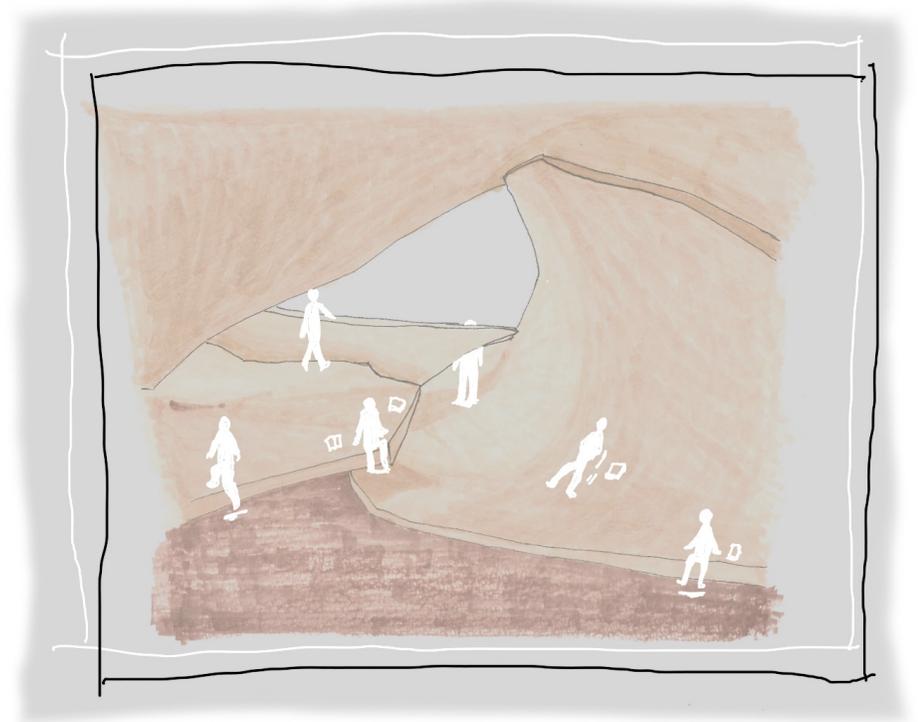
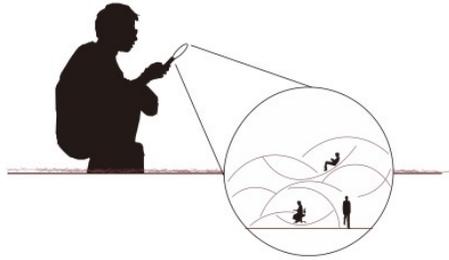


# 新たなモノとの出会い



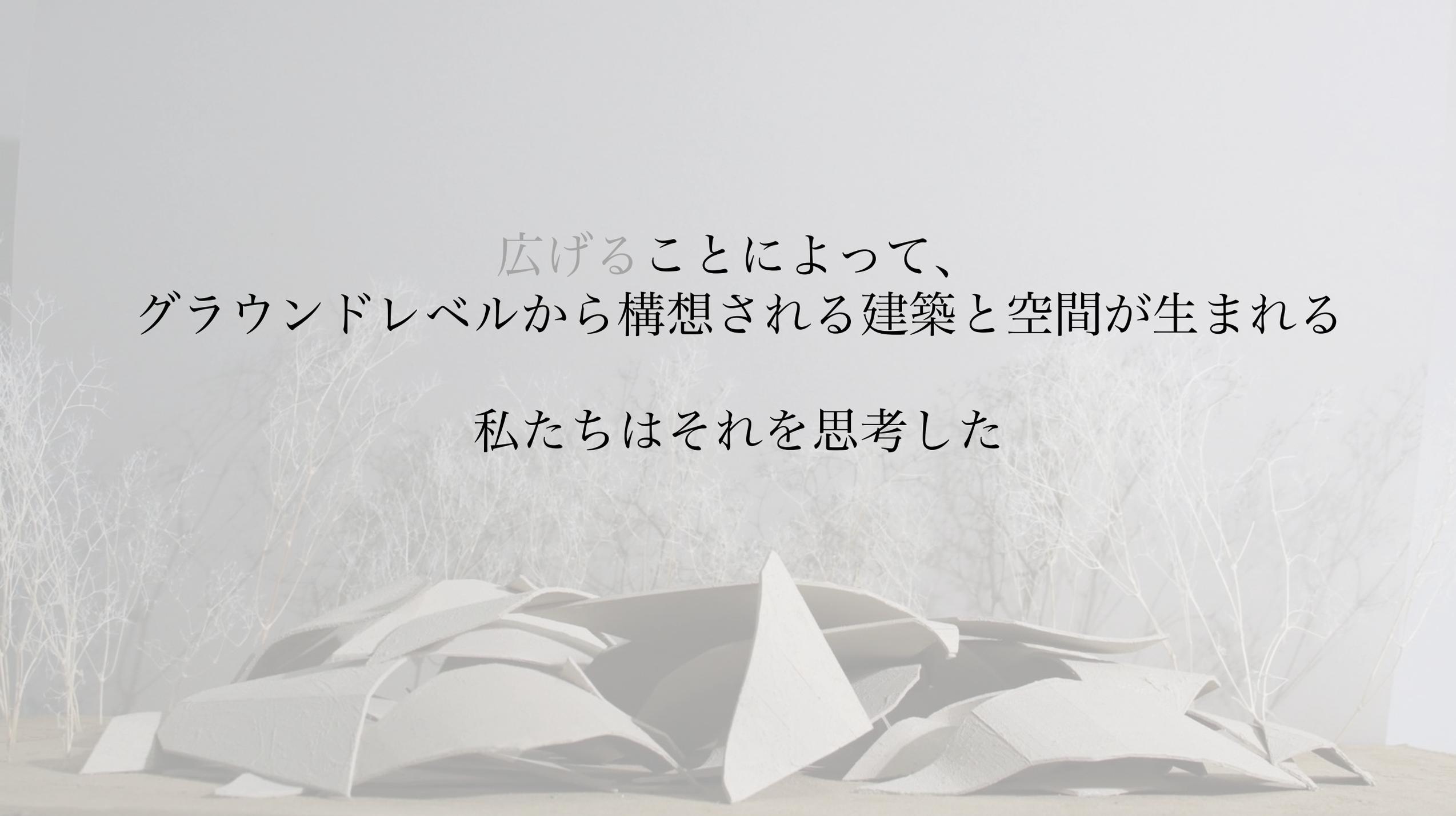
グラウンドレベル上で  
人の営みを介し広げる

# GLを広げて見る

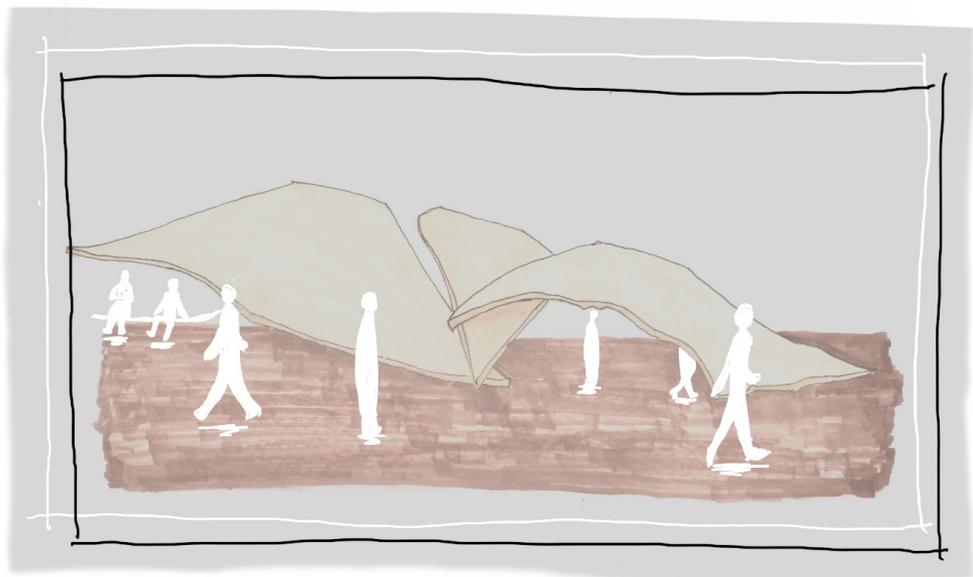


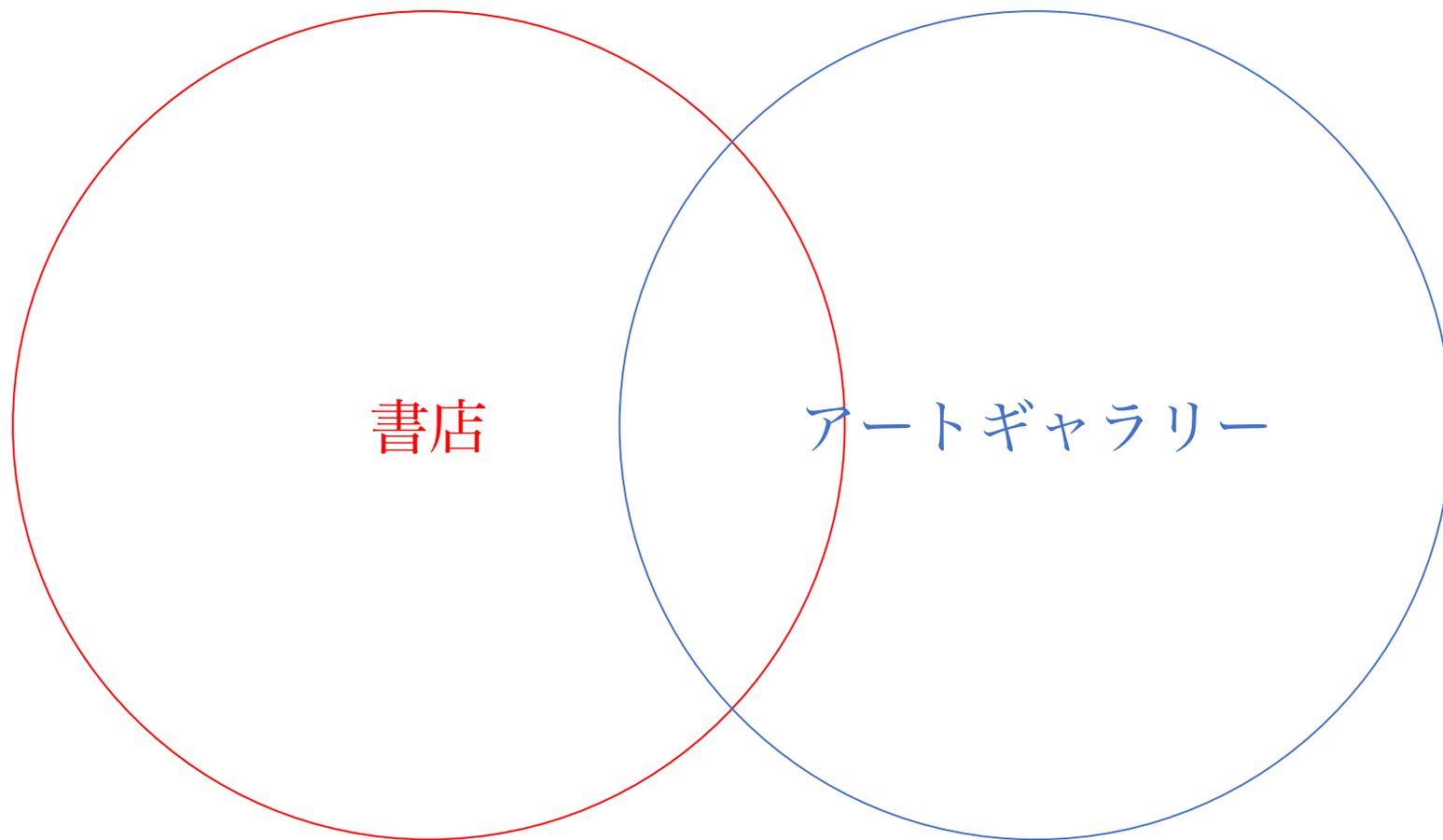
広げることによって、  
グラウンドレベルから構想される建築と空間が生まれる

私たちはそれを思考した



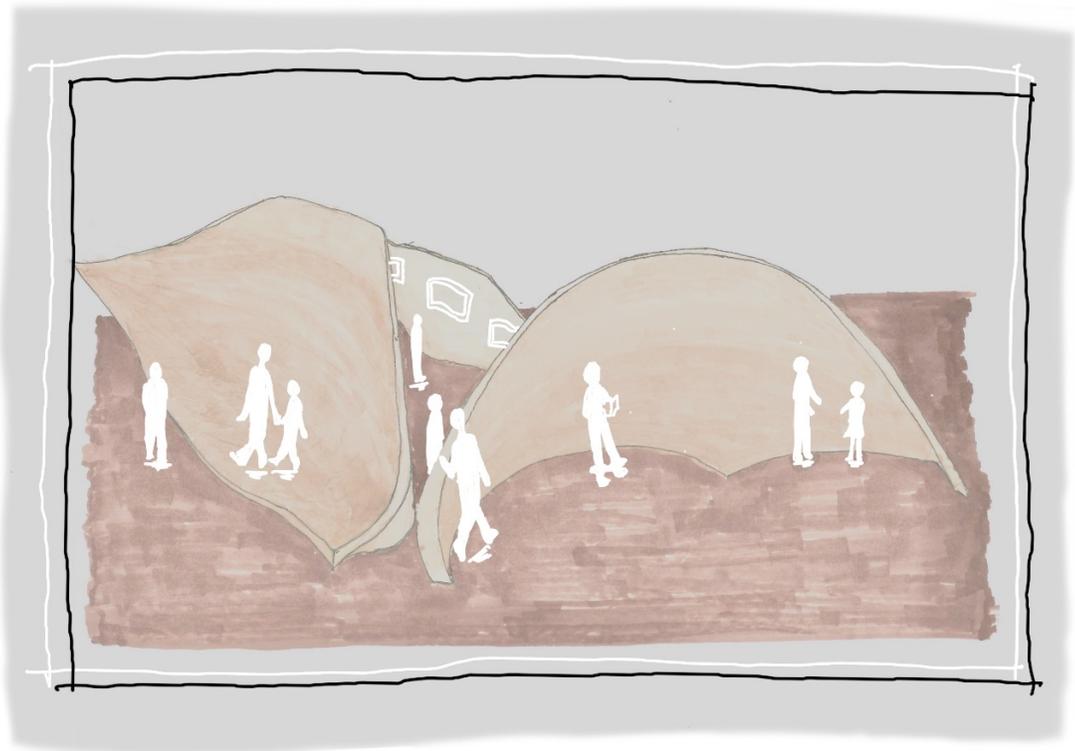
# 提案：広がり立つ



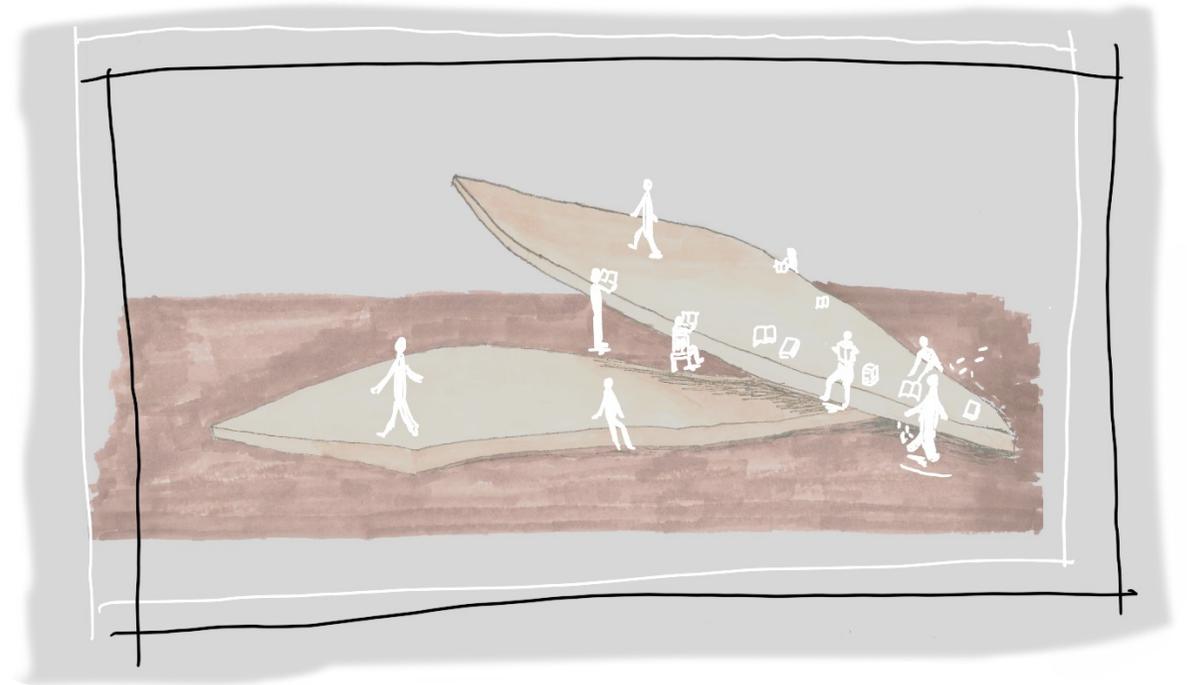


書店

アートギャラリー



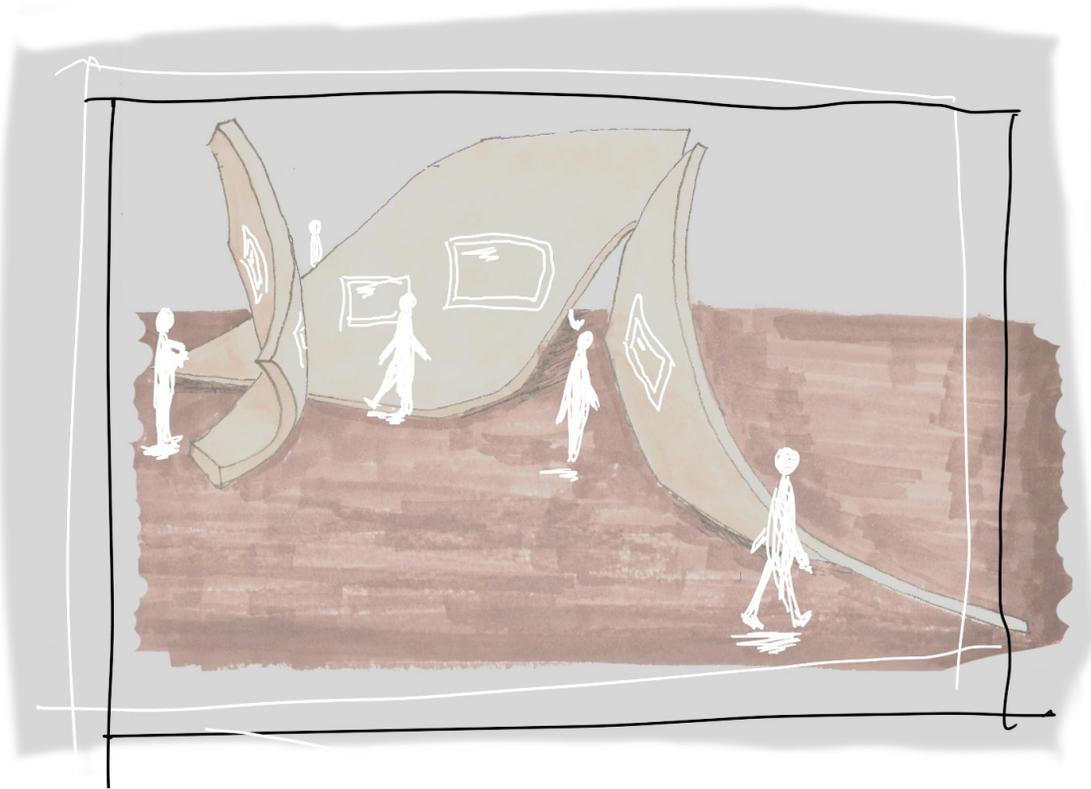
隙間を作り、書店に居る人に  
アートギャラリーの存在を感じさせ、  
日常に、非日常に行く  
きっかけの場を与える



書店では

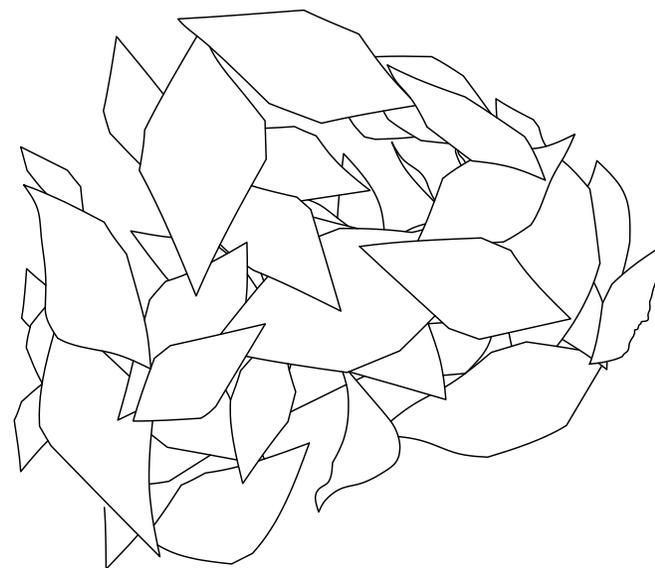
読んでいた本を自分が居た椅子や机に  
置きっぱなしにする

偶然的に知らない本に出会うことで、  
新たなモノのGLに立つことができる



アートギャラリーでは  
様々な順路、角度から作品を  
見ることで、新たな視点に出  
会い、新たなGLに立つ

三次元に広がり、豊かになったグラウンドレベル  
一見無造作に見えるファサードの中に、  
有意義な空間を構成している



この空間で、新しいモノとの出会いは、誰かが書いた本・読んだ本、  
誰かが作ったアート・見たアートから生まれる

人を介した出会いが無限に繰り返され、広がる

新しいモノに触れた瞬間に、そのモノのグラウンドレベルに立つ  
その瞬間が生まれる場所

強制的ではなく、人それぞれに選択肢を与え、感性や価値観による判断の  
もとに、出会い、グラウンドレベルに立つ

そんな偶然の出会いを必然的に与える場として  
この建築は意義を持つ